

「子どもの心の診療医」の養成研修モデル

1. 一般の小児科医・精神科医 (*1)

① 学会での教育講演などの聴講 (1年に1~2回)

② 学会等の研修会のプログラムの視聴覚教材による独学

①または②のいずれかを選択

③ 一般小児科・精神科での子どもの心の診療の強化研修

基礎講座研修 (1~2日)

基礎講座研修 (1~2日)

応用研修 (1~2日)

事例検討研修 (1~2日)

これらの中から各医師の経験等に応じ選択・組み合わせ

2. 子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医 (*2)

① 学会連合型単位獲得研修コース

・これらの中から各医師の経験・勤務状況等に応じ選択・組み合わせ

研修A (学会)

研修B (学会)

研修C (学会)

研修D (学会)

研修E (学会)

研修F (学会)

② 短期研修 (3日間) コース

・基礎研修1回と事例検討中心の研修3回で基礎ステップを終了
・その後は年1回は事例検討研修を受ける

基礎研修 (3日間)

事例検討中心の研修 (3日間)

事例検討中心の研修 (3日間)

事例検討中心の研修 (3日間)

①~③より各医師の経験・勤務状況等に応じ選択・組み合わせ

③ 中期研修コース (1~3ヶ月間~1年)

・基礎研修を受けた後、臨床実習を受け、その後、事例検討研修を受講

基礎研修 (3日間)

臨床実習 (1~3ヶ月間もしくは週1~2回を1年間)

事例検討中心の研修 (3日間)

3. 子どもの心の診療に専門的に携わる医師 (*3)

長期研修コース (1年以上)

専門レジデント研修 (1~3年間の長期研修)

*1 卒後臨床研修修了後、小児科や精神科の一般的な研修を修了し、一般的な診療に携わる医師。

*2 上記*1を経て、さらに子どもの心の診療に関する一定の研修を受け、子どもの心の診療に定期的な携わる医師。

*3 上記*1又は上記*2を経て、子どもの心の診療に関する専門的研修を受け、専ら子どもの心の診療に携わる医師。